

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	杉並区立こども発達センター			
○保護者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年11月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	113	(回答者数)	40
○従業者評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	23
○訪問先施設評価実施期間	令和7年9月1日		～	令和7年11月30日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	86	(回答者数)	41
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 3月 1日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職員（理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、心理士）を配置し、多様な専門性を活かしながら、訪問先施設と連携した支援ができる。	子どもの様子や発達状況に応じて担当者を配置し、対象児童や訪問先施設の状況にあわせて、訪問支援員の職種を選定する工夫を行っています。	対象児童や訪問先施設の状況に応じた専門職の選定を継続するとともに、訪問前後の打合せを充実させ、専門性をより効果的に活かした支援につなげていきます。
2	所内外の関係者と共通理解を図りながら支援を検討しており、継続性と一貫性のある訪問支援を実施できている。	訪問前後に、個別指導、親子グループ、たんぼぼ園の担当者と連携し、お子さんの発達状況や課題、訪問先施設での様子、対応方法について丁寧な情報共有を行っています。	共有した情報をより体系的に整理し、訪問支援員間での振り返りや検討の機会を充実させることで、支援内容の質の向上につなげていきます。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ホームページを事業所との情報のやり取りに活用しているものの、確認等がホームページ上で完結せず、電話等による補足が必要な場面がある点が弱みです。	ホームページ上で確認や手続きが完結できる仕組みが十分に整っておらず、利用者や関係機関との情報共有が円滑に行っていません。	電話等による補足が必要な場面を減らすため、ホームページ上で完結できる確認事項や手続きを整理し、掲載内容や運用方法の見直しを行う必要があります。
2			
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
杉並区立こども発達センター		令和8年 4月 3日				113		40	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		環境・体制整備	1	19	2			0	19
2	プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	27	2	1	10		保育所等への訪問支援が主であり、事業所内で個別に関わる機会は少ないため、面接室の使用は限定的です。必要に応じてプライバシーに配慮した対応を行っています。		
3	事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	40	0	0	0	適切かつわかりやすい説明でした。			
4	保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	38	1	1	0	事前の支援計画から日程調整、実施後のレポートまで、丁寧な相談とやり取りのもとで訪問支援が実施されていました。	今後も事前の計画立案、日程調整、実施後の報告までを丁寧に行い、関係者との連携を大切にしながら、支援の質の向上に努めます。		
適切な支援の提供	5	こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	36	0	0	4	日頃、個別支援を担当し、子どもの様子をよく知っている先生に直接対応してもらえたため、安心して支援を受けることができ、適切だったと感じています。		
	6	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	40	0	0	0	子どもの成長や特性に合わせた支援計画のもと、適宜会話や意見交換をしながら支援を行っていただいていると感じています。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	40	0	0	0			
	8	保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	30	2	0	8	訪問時の確認ポイントについて、センターと保育園が直接連携することで、より正確な情報共有が可能になると感じました。	訪問時の確認ポイントについて、センターと保育園が直接連携し、より正確な情報共有を図りながら支援を実施していきます。	
	9	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35	2	0	3		支援計画は保育所等訪問支援ガイドラインを踏まえて作成していますが、支援内容について、保護者への説明や情報共有をより丁寧に言い、支援計画の内容が分かりやすく伝わるよう努めていきます。	
	10	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	1	0	4		今後は保育所等訪問支援計画の内容や支援の目的について、より丁寧な説明と共有を行い、計画に沿った支援が実施されていることを保護者に分かりやすく伝えていきます。	
	11	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	35	2	0	3		訪問先施設の方針や環境への配慮について、事前・事後の情報共有を充実させ、支援内容が分かりやすく伝わるよう努めていきます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	39	0	1	0			
	13	「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	40	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	32	1	1	6		現在、家族支援プログラムや研修の実施は十分ではありませんが、次年度から新たな研修を予定しています。今後、家庭での関わりに役立つ情報提供の充実にも取り組んでいきます。	
	15	必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	38	0	0	2			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	36	1	0	3			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	38	1	0	1			
18	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	1	0	4		相談や申し入れに対応する体制について、改めて分かりやすく周知・説明を行い、相談窓口や相談方法が明確に伝わるよう努めていきます。また、引き続き迅速かつ適切な対応を行っています。		

	19	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	38	1	0	1		
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	36	1	0	3		
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	35	1	1	3	事業所と訪問先施設との間で、各種情報共有が行われたと聞いています。	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	39	0	0	1	報告書を受け取り、子どもの様子やそれに対する分析が適切になされていると感じました。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	3	0	19		情報発信の頻度や方法について、事業所の状況を踏まえながら検討し、必要な情報が保護者に分かりやすく伝わるよう工夫してまいります。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	1	0	3	情報を共有するにあたり、個々の価値観も入ると思うので、とても難しい質問だと思う。	個人情報管理研修の実施や個人情報管理手順の確認を行い、安全な取扱いを徹底しています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	25	0	1	14		緊急時の対応については、訪問先施設と連携して対応していますが、その体制や内容が十分に伝わった可能性を踏まえ、今後は情報共有や説明を工夫してまいります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	31	0	1	8		子どもの安全を確保するための計画に基づき支援を行っていますが、その内容や安全への取り組みについて十分に伝わっていなかった可能性があるため、今後は必要に応じて分かりやすく周知・説明を行ってまいります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	34	2	0	4	訪問支援を喜んでいる様子が見られるとの声がある一方、子どもの反応を把握しにくく、嫌がっているかどうかの判断が難しいという声もありました。	実施にあたっては、所属園と相談しながら、子どもへの影響が少ない方法で支援を行っています。今後も、訪問先施設と連携し、子どもの様子に配慮しながら支援を実施するとともに、必要に応じて保護者へ状況をお伝えしてまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	36	2	1	1		必要に応じて改善を図りながら、よりよい支援を目指します。引き続き、保護者、訪問施設と連携を図り、お子さまの支援に努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			令和8年4月3日	
杉並区立こども発達センター		訪問先施設 施設数	86	回収数	41	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	39	2	0	的確で具体的な助言を受け、情報共有を通じて対応方法を知ることができたという評価がある一方で、園で実践している内容の確認が中心となり、新たな対応方法を知る機会が少なく感じたとの声もありました。	引き続き情報共有を大切にしながら、園で行っている支援の確認に加え、専門的な視点からの具体的な対応方法や工夫についても提案できるよう努めていきます。	
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	39	2	0	具体的に活かしやすい助言や、気づきにくい配慮について知ることができたという評価がありました。一方で、内容によっては園で行っている取り組みの確認が中心となり、新たな対応を知る機会が少なく感じられる場合もありました。	引き続き分かりやすく具体的な助言や情報共有を行うとともに、園での取り組みの確認にとどまらず、専門的な視点から新たな気づきや具体的な対応方法の提案ができるよう努めていきます。	
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	39	2	0	場面に応じた助言があり、細やかな点にも気づいて適切に対応してもらっているという声がありました。また、カンファレンス等で困りごとを相談でき、タイムリーな改善につながっているとの評価もありました。	今後も場面や状況に応じた助言を行うとともに、細やかな点にも配慮しながら、カンファレンス等を通して困りごとを共有し、タイムリーな支援や改善につなげていきます。	
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	34	7	0	対応を考えるきっかけとなり、接し方の幅が広がった、また、情報共有を通して一定の手がかりを得られたという声がありました。一方で、困りごとの解消や軽減につながる具体的な助言が十分に得られていないと感じる場合もあり、訪問支援を主に情報共有の場として捉えているという声もありました。	今後は情報共有に加えて、園や保護者が抱える困りごとをより具体的に整理し、課題の解消や軽減につながる実践的な助言や対応方法を提案できるよう努めていきます。	
5 事業所からの支援に満足していますか。	38	3	0	こまめに連携が取れており助かっている、また、細かく話を聞いた上で的確なアドバイスがもらえるという声がありました。あわせて、センターで行っている支援内容を知ることによって連携が円滑やすくなっているとの評価がありました。一方で、療育を受けている園児の様子を実際に見てみたいという要望もありました。	こまめな連携と的確な助言を継続するとともに、センターで行っている支援内容について分かりやすく共有し、療育の様子については可能な範囲で情報提供の方法を工夫して、連携の充実につなげていきます。	
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応		
丁寧で適切なアドバイスや、担任とは異なる視点からの助言が参考になり、情報共有を通して安心して保育に取り組んでいるという声がありました。また、子どもの発達について関係者間で連携を図り、保護者へ伝えられている点を評価する意見もありました。一方で、訪問日程の調整が遅くなり、書類作成の時間が十分に確保できない場合があることや、依頼から実現までに時間を要し、タイムリーに相談できないことがあるとの声もありました。 福祉的支援につながった方がよいと考えられる子どもについて、園からの働きかけだけでなく、訪問支援事業からの多角的なアプローチがあるとよいという意見がありました。				こまめな連携や丁寧な助言を継続するとともに、訪問日程の調整や相談のタイミングについて工夫し、より利用しやすい支援体制を目指していきます。また、福祉的支援が必要な子どもについては、関係機関との連携を図り、多角的な支援につなげていきます。		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
杉並区立こども発達センター		令和8年 4月3日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	23	0			
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	19	2			
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	23	0	機会がありますが、やや少ないと感じます。	業務改善に関する目標設定や振り返りについて、職員が参画できる機会を増やし、意見を共有しながら進めていけるよう工夫していきます。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	22	1			
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	20	3	意見を把握する場は設けているものの、職員が関わる機会がやや少ないと感じます。また、出された意見が業務改善につながっているかが分かりにくいと感じています。	意見を把握する機会を継続しながら、その内容が業務改善にどのようにつながったかを共有し、改善の流れが見えるよう工夫していきます。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20	3		外部評価は3年に1回実施しており、次年度に評価を予定しています。評価結果を踏まえ、業務改善につなげられるよう検討していきます。	
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	22	1	資質向上の機会が足りないと感じます。	研修のあり方について見直しを行い、職員が学びやすい形での研修機会の確保に努めていきます。	
適切な 支援の 提供	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	23	0			
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	23	0			
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	22	1		支援計画の作成にあたっては、訪問先施設の担当者や担任等とより丁寧に連携し、施設での様子や意向を把握した上で、支援計画に反映できるよう努めていきます。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23	0			
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	23	0			
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	23	0			
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	23	0			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	23	0			
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	23	0			
17 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	23	0				

	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	22	1		毎回の支援内容について記録を行うことの重要性を改めて共有し、記録の取り方や活用方法について見直しを行いながら、支援内容の検証や改善につなげていけるよう取り組んでいます。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	21	2		支援の実施にあたっては、事前に保護者や訪問先施設の意向を確認した上で支援を行い、年3回のモニタリングを通して保護者のニーズを把握しています。今後は、モニタリングの結果をもとに、支援計画の見直しの必要性をより丁寧に検討し、必要な見直しにつなげていけるよう取り組んでいます。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	23	0		
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	21	2		保護者の了解のもと、必要に応じて関係機関と連携を図りながら支援を行っています。今後も状況に応じた適切な連携を継続していきます。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	22	1		就学時の移行に際しては、保護者を通して、個別支援計画や訪問支援報告書等を就学先へ共有し、これまでの支援内容や子どもの様子について情報提供を行っています。必要に応じて支援の経過や配慮事項が引き継がれるよう、円滑な移行につながる情報共有に努めています。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	17	6		次年度は、訪問支援研修を年1回から年2回へと回数を増やすことを予定しており、職員の資質向上につながるよう取り組んでいます。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	23	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	22	1		日頃から保護者と子どもの状況について情報共有を行っていますが、支援の目的や課題の整理について、より分かりやすく伝える工夫が必要であると考えています。今後は、情報共有の内容を整理し、保護者より丁寧に振り返りながら、共通理解を深められるよう改善していきます。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	22	1		現在、家族支援プログラムや研修の実施は十分ではありませんが、次年度から参加しやすい研修機会の企画を予定しています。今後、家庭での関わりに役立つ情報提供の充実にも取り組んでいきます。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	23	0		
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	23	0		
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	23	0		
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	23	0		
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	15	8		
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	23	0		
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	19	4		今後は、相談窓口や相談方法について改めて分かりやすく周知するとともに、相談や申入れがあった際には、引き続き迅速かつ適切な対応が行えるよう努めています。
34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	23	0			

	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	23	0		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	22	0	未回答：1	今後は相談対応のあり方や支援内容について整理し、適切な対応につなげられるよう取り組んでいきます。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	22	0	未回答：1	事後の振り返りや支援内容の共有について、可能な方法を検討し、必要な情報共有につなげられるよう取り組んでいきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	23	0		
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	23	0		
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	22	1		今後は、施設の立場や状況をより丁寧に理解しながら関わりを深め、専門性を活かした助言を通して信頼関係の構築につなげていきます。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	23	0		
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	23	0		
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	23	0		
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	23	0		
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	23	0		